



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月6日

上場会社名 出光興産株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5019 URL http://www.idemitsu.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 月岡 隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部IR室長 (氏名) 橋床 泰治 TEL 03-3213-9307  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,106,166	4.7	13,638	57.5	16,115	80.5	22,608	—
25年3月期第1四半期	1,056,745	7.0	8,657	△82.2	8,928	△82.7	△290	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 37,932百万円 (175.8%) 25年3月期第1四半期 13,751百万円 (△63.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	565.37	565.32
25年3月期第1四半期	△7.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,820,395	717,676	24.2
25年3月期	2,728,480	687,948	24.0

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 683,102百万円 25年3月期 653,562百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	100.00	—	100.00	200.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	100.00	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,330,000	13.5	37,000	32.5	35,000	46.4	30,000	—	750.20
通期	4,900,000	12.0	79,000	△28.6	78,000	△28.5	51,000	1.7	1,275.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	40,000,000株	25年3月期	40,000,000株
26年3月期1Q	10,433株	25年3月期	10,413株
26年3月期1Q	39,989,573株	25年3月期1Q	39,989,717株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の国内の石油製品需要は、揮発油、軽油等についてはほぼ前年並みとなりましたが、電力用重油の需要が節電効果などの影響で減少したことにより、全体では前年と比べて減少しました。

ドバイ原油価格は、米国景気回復懸念や中国経済成長率の減速により、4月半ばには100ドル/バレルを割り込み、その後は米国経済指標の改善や地政学的なリスクへの警戒感などから90ドル/バレル台半ばから100ドル/バレル前後で推移しました。この結果、4～6月の平均価格は前年同期比5.6ドル/バレル下落の100.8ドル/バレルとなりました。

石油化学製品需要は、ほぼ前年並みとなりました。石油化学原料であるナフサ価格は、原油価格と同様に下落し前年同期比で122ドル/トン下落の927ドル/トンとなりました。

(原油価格、ナフサ価格、為替レートの状況)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	
ドバイ原油 (ドル/バレル)	106.4	100.8	△5.6	△5.2%
ナフサ価格 (ドル/トン)	1,049	927	△122	△11.6%
為替レート (円/ドル)	81.2	99.8	+18.6	+22.9%

当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、円安の影響で原油の輸入価格が上昇したことなどにより1兆1,062億円（前年同期比+4.7%）となりました。

営業利益は、原油価格の上昇による在庫評価益の増加などで136億円（前年同期比+57.5%）となり、経常利益は持分法投資利益が増加したことなどにより161億円（前年同期比+80.5%）となりました。

以上の結果に加え、受取保険金による特別利益の増加などにより、四半期純利益は226億円（前年同期比+229億円）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりです。

当社グループの決算期は、一部を除き、海外子会社が12月、国内子会社は3月であるため、当第1四半期連結累計期間の業績については、海外子会社は平成25年1～3月期、国内会社は平成25年4～6月期について記載しています。

## [石油製品部門]

石油製品部門の売上高は、円安の影響で原油の輸入価格が上昇したことなどにより9,182億円（前年同期比+6.2%）となりました。

営業利益は、製品マージン縮小などの減益要因はありましたが、原油価格の上昇による在庫評価益の増加などにより41億円（前年同期比+91億円）となりました。

## [石油化学製品部門]

石油化学製品部門の売上高は、円安の影響で通関ナフサ価格が上昇したことなどにより1,490億円（前年同期比+10.6%）となりました。

営業利益は、スチレンモノマー等の市況が高値圏で推移し製品マージンが拡大したことなどから99億円（前年同期比+480.4%）となりました。

## [資源部門]

## (石油開発事業)

石油開発事業の生産数量は前年並みでしたが、出荷の一部が翌期にずれしたことなどにより、売上高は136億円（前年同期比△49.7%）に減少し、営業利益は40億円（前年同期比△66.8%）となりました。

## (石炭事業・その他事業)

石炭事業・その他事業の売上高は、石炭の販売価格の下落などにより165億円（前年同期比△26.2%）となり、営業利益は△24億円（前年同期比△38億円）となりました。

以上の結果、資源部門計では、売上高は301億円（前年同期比△39.0%）、営業利益は15億円（前年同期比△88.4%）となりました。

## [その他部門]

その他部門の売上高は、89億円（前年同期比+11.5%）となり、営業利益は△2億円（前年同期比△3億円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産の部・負債の部

資産の部では、原油価格の上昇などによりたな卸資産が増加したことや関係会社株式の取得などにより、連結資産合計で2兆8,204億円（前連結会計年度末対比+919億円）となりました。負債の部では、買掛債務の増加や有利子負債（9,426億円）の増加により、連結負債合計で2兆1,027億円（前連結会計年度末対比+622億円）となりました。

## ②純資産の部

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、四半期純利益による利益剰余金の増加や円安の進行に伴う為替換算調整勘定の増加などにより7,177億円（前連結会計年度末対比+297億円）となり、自己資本比率は24.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを勘案し、平成25年5月2日公表の予想を修正しました。なお、当該予想に関する詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しています。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	116,847	132,150
受取手形及び売掛金	425,920	432,325
たな卸資産	646,448	674,850
その他	122,719	90,967
貸倒引当金	△719	△230
流動資産合計	1,311,216	1,330,064
固定資産		
有形固定資産		
土地	596,023	595,560
その他(純額)	434,311	446,839
有形固定資産合計	1,030,335	1,042,400
無形固定資産		
のれん	36,780	38,681
その他	15,266	15,206
無形固定資産合計	52,047	53,888
投資その他の資産		
油田プレミアム資産	90,190	95,263
その他	245,014	299,016
貸倒引当金	△323	△237
投資その他の資産合計	334,881	394,042
固定資産合計	1,417,264	1,490,331
資産合計	2,728,480	2,820,395
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	405,307	433,782
短期借入金	349,196	390,385
コマーシャル・ペーパー	29,997	44,995
未払金	277,053	247,520
未払法人税等	26,782	20,688
その他	95,811	101,686
流動負債合計	1,184,149	1,239,058
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	493,875	484,012
退職給付引当金	15,948	14,765
修繕引当金	21,009	23,937
資産除去債務	44,201	47,006
油田プレミアム負債	95,326	102,870
その他	166,020	171,068
固定負債合計	856,382	863,660
負債合計	2,040,532	2,102,719

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	108,606	108,606
資本剰余金	71,131	71,131
利益剰余金	331,529	349,231
自己株式	△118	△118
株主資本合計	511,148	528,850
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,818	5,250
繰延ヘッジ損益	△3,281	△1,338
土地再評価差額金	149,782	149,547
為替換算調整勘定	△7,905	792
その他の包括利益累計額合計	142,413	154,251
少数株主持分	34,386	34,574
純資産合計	687,948	717,676
負債純資産合計	2,728,480	2,820,395

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,056,745	1,106,166
売上原価	987,925	1,029,432
売上総利益	68,820	76,734
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	60,163	63,096
営業利益	8,657	13,638
営業外収益		
受取利息	424	433
受取配当金	1,322	879
持分法による投資利益	1,845	2,871
その他	983	2,161
営業外収益合計	4,576	6,345
営業外費用		
支払利息	3,662	3,249
その他	642	618
営業外費用合計	4,305	3,868
経常利益	8,928	16,115
特別利益		
固定資産売却益	192	109
受取保険金	—	20,883
その他	83	1
特別利益合計	275	20,993
特別損失		
減損損失	13	—
投資有価証券評価損	302	—
固定資産売却損	114	34
固定資産除却損	220	249
その他	—	145
特別損失合計	650	429
税金等調整前四半期純利益	8,553	36,679
法人税等	7,424	13,138
少数株主損益調整前四半期純利益	1,129	23,541
少数株主利益	1,420	932
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△290	22,608



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,129	23,541
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,696	1,139
繰延ヘッジ損益	2,153	2,197
為替換算調整勘定	13,883	10,886
持分法適用会社に対する持分相当額	△718	167
その他の包括利益合計	12,622	14,390
四半期包括利益	13,751	37,932
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,803	35,861
少数株主に係る四半期包括利益	3,947	2,070

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	石油製品	石油化学 製品	資源	計				
売上高								
外部顧客への売上高	864,732	134,680	49,372	1,048,785	7,960	1,056,745	—	1,056,745
セグメント間の内部 売上高又は振替高	596	582	△0	1,179	399	1,578	△1,578	—
計	865,328	135,262	49,372	1,049,964	8,360	1,058,324	△1,578	1,056,745
セグメント利益又は損失(△)	△4,979	1,713	13,357	10,092	60	10,153	△1,495	8,657

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業、保険事業、電子材料事業、アグリバイオ事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△1,495百万円には、セグメント間取引消去△392百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,103百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要なものはありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	石油製品	石油化学 製品	資源	計				
売上高								
外部顧客への売上高	918,220	148,968	30,105	1,097,293	8,873	1,106,166	—	1,106,166
セグメント間の内部 売上高又は振替高	559	707	0	1,267	567	1,834	△1,834	—
計	918,779	149,675	30,106	1,098,561	9,440	1,108,001	△1,834	1,106,166
セグメント利益又は損失(△)	4,101	9,947	1,543	15,592	△194	15,398	△1,760	13,638

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業、保険事業、電子材料事業、アグリバイオ事業、再生可能エネルギー事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△1,760百万円には、セグメント間取引消去△1,001百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△758百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要なものはありません。